

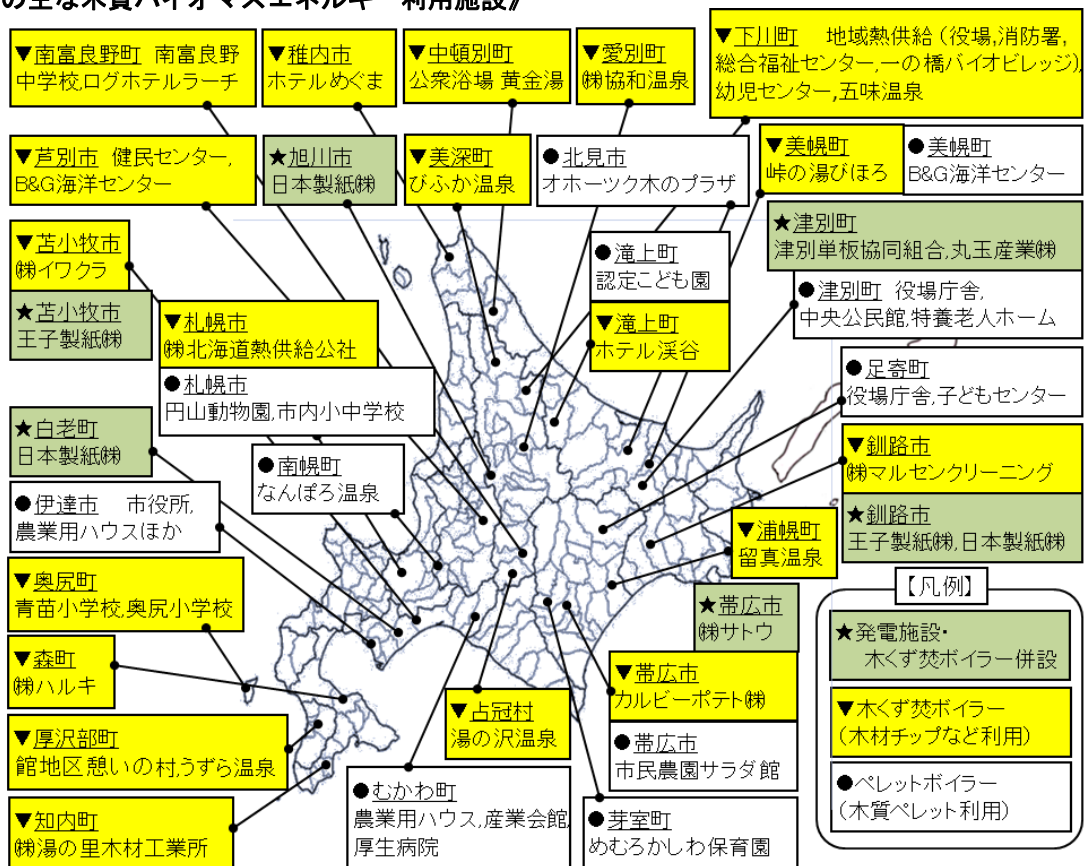
行政の窓

北海道の木質バイオマスエネルギーの利用状況

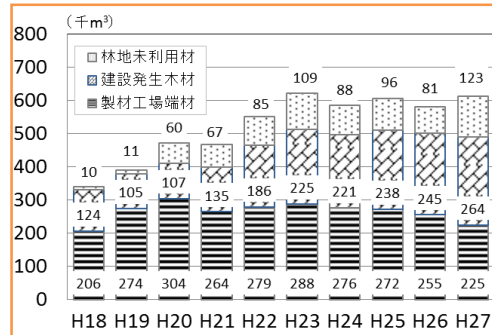
《北海道の木質バイオマスのエネルギー利用の促進に向けた取組》

森林整備に伴い発生した林地未利用材や製材工場の端材などの木質バイオマスをエネルギーとして有効に活用することは、森林整備の推進などにつながるとともに、化石燃料に替わるエネルギーへの転換による地球温暖化の防止にも貢献する重要な取組です。このため道では、木質バイオマス利用施設の整備や安定供給体制づくりに支援するなど、木質バイオマスのエネルギー利用を推進してきたところです。今後は、大規模木質バイオマス発電所が今年から3箇所稼働するなど木質バイオマス利用量の大幅な増加が見込まれていることから、林地未利用材の更なる活用を促進するなどして、木質バイオマスの安定供給促進に向けた取組を支援していきます。

《道内の主な木質バイオマスエネルギー利用施設》



木質バイオマスエネルギーの利用施設の現況（平成27年度）
 発電施設：31基
 木くず焚ボイラー：120基
 ペレットボイラー：124基
 ペレットストーブ：3,026台
 （木くず焚ボイラー数には、発電施設利用のためのボイラーを含む）



《木質バイオマスエネルギー利用量の推移》

（北海道水産林務部林務局林業木材課木質バイオマスグループ）